

和文誌「藻類」投稿案内

1. 編集方針と投稿資格

本誌には藻学に関する未発表の原著論文（論文と短報）、総説、およびその他の報文（藻類学最新線、書評、大会講演要旨、学会・シンポジウム案内、学会事業案内など）を掲載します。原著論文および総説は和文誌編集委員会が依頼する審査員による審査を経たのちに編集委員長が掲載の可否を決定します。その他の報文の掲載の可否は編集委員会で査読を行ったのち編集委員長が判断します。なお、編集委員会が依頼した場合を除き、投稿は著者の少なくとも1人は会員であることが必要です。

2. 原稿執筆・投稿要領

原稿は本文を和文とします。デジタルデータのみ受け付けます。本文はWord等で、図はJPG、EPS、PDF等を十分な画質（350 dpi以上）で、表はExcel等で作成しメール、CD-R等で編集委員長（本誌表紙裏参照）へ、下記の投稿票（その他の報文の場合、柱は不要）と共に提出してください。（図や表をWordなどに貼り付けしないでください）。

原著論文の構成は1)～5)の通りです。総説およびその他の報文は、最新号を参照して作成してください。

1) 投稿票

著者名、標題、連絡先（連絡著者名、郵便番号、住所、電話番号、E-mailアドレス）、柱（著者名の略、標題の略）。

2) 標題等

和文：標題、著者名、所属、住所
英文：著者名、標題、要約（200語以内）、キーワード（abc順）、所属、住所

3) 本文

緒言、材料と方法、結果、考察（または結果と考察）、謝辞。（短報ではこれらの項目を区別しない）

本文中の文献、図および表の引用例：「…が知られる（岡村1936, Yoshida & Silva 1992, Hind *et al.* 2016）。」「吉田ら（1999, p. 120）は…した。」「…がみられる（図2）。」「…上に出現した（Figs 4–8, Table 3）」

4) 引用文献

本文中で引用したすべての文献を下記の例にならい、和文論文も含めて著者名のabc順に並べる。著者が8名以上の文献については、著者のうち最初の3名と「～ら」または「*et al.*」を示す。

- Abbott, I. A. & Hollenberg, G. J. 1976. Marine algae of California. Stanford University Press. Stanford, California.
原慶明・千原光雄 1987. ラフィド藻. 日本資源保護協会（編）赤潮生物研究指針. pp. 544–566. 秀和. 東京.
Hind, K. R., Gabrielson, P. W., Jensen, C. P. & Martone, P. T. 2016. *Crusticorallina* gen. nov., a nongeniculate genus in the subfamily Corallinoideae (Corallinales, Rhodophyta). J. Phycol. 52: 929–941.
Merchant, S. S., Prochnik, S. E., Vallon, O. *et al.* 2007. The *Chlamydomonas* genome reveals the evolution of key animal and plant functions. Science 318: 245–250.
森田晃央・小黒敏行・斎藤洋一ら 2014. ヒジキ発芽体の生長および仮根伸長におよぼす水温と光の影響. 藻類 62: 88–92.
岡村金太郎 1936. 日本海藻誌. 内田老鶴圃. 東京.

Phillips, J. A. 2007. Heterokontophyta: Phaeophyceae. In:

McCarthy, P. M. & Orchard, A. E. (eds.) Algae of Australia: Introduction. pp. 264–287. ABRIS, Canberra & CSIRO Publishing, Melbourne.

吉田忠生・菊地則雄・吉永一男 1999. アサクサノリの野生個体群. 藻類 47: 119–122.

Yoshida, T. & Silva, P. C. 1992. On the identity of *Fucus babingtonii* Harvey (Fucales, Phaeophyta). Jpn. J. Phycol. 40: 121–124.

5) 図と表、およびその説明

実際の印刷では、幅は1段8.6 cm、2段17.8 cm、縦は最大で24 cmとなる。図には倍率を示すスケールを入れ、必要に応じて矢印や文字などを貼り付ける。図、表の説明は、原稿の末尾に英文、和文または和英併記で記入する。

3. 原稿作成時の注意

以下の点に注意して原稿を作成してください。

- 1) A4用紙に1行40字、25行とする。
- 2) 常用漢字、現代仮名遣いを使用する。
- 3) 本文中の句読点は「、」と「。」を用い、「、」や「。」を使用しない。「、」は、和文では全角、欧文では半角にする。
- 4) 全角の数字・アルファベットや半角のカタカナを使用しない。
- 5) 学名の使用は最新の国際藻類・菌類・植物命名規約に従う。
- 6) 本文中ではじめて使用する学名にのみ著者名をつける。属と種形容語、*et al.* はイタリックにする。
- 7) 単位系はSI単位を基本とする。原稿中で使用できる主な単位と省略形は次のとおり： 時間 hr, min; 長さ m, mm, nm; 重量 g, mg; 容積 L, mL; 温度 °C; 波長 nm; 光強度 Wm^{-2} , $\mu mol m^{-2} s^{-1}$

4. 校正

校正は初校のみとします。PDFファイルをE-mailでお送りしますので、無料のPDFファイル閲覧ソフトAcrobat Readerなどで画面上もしくは印刷して校正していただきます。校正の結果はE-mailで受領後3日以内に編集委員会宛にご返送ください。図表等は解像度が低い場合がありますので図表の最終チェックは編集委員会におまかせください。校正はレイアウトおよび提出ファイルからデータ変換が正しく行われているかを確認することとめてください。

5. 制限頁と超過頁料金

原著論文は刷り上がり10頁以内、総説は16頁以内、その他の報文は原則として4頁以内を、無料とします。超過分には超過頁料金（1頁あたり12,000円）が必要です。2,700字で刷り上がり1頁となる見当です。そのほか、折り込み頁、色刷りなどの費用は著者負担となります。

6. 別刷り

有料です。別刷り価格は、基本料金（送料と発送手数料を含む）2,000円に、2ページ50部あたり1,000円が加算されます。PDFファイルは1ページあたり1,000円です。

7. 著作権

和文誌「藻類」に掲載された論文・記事等のすべての著作権は、日本藻類学会に帰属します。

(2017年3月30日改正)